

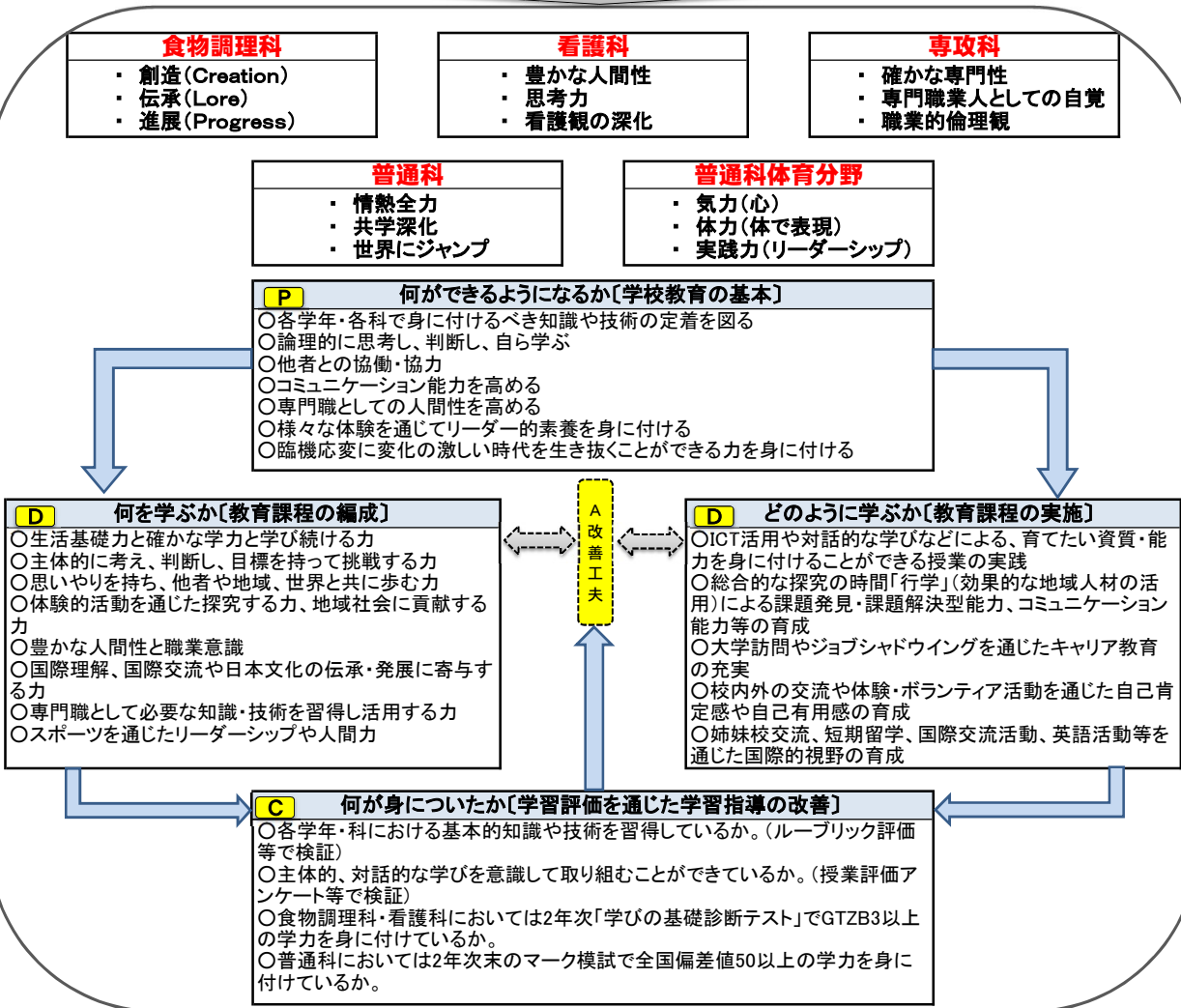
令和2年度 岡山県立津山東高等学校グランドデザイン [改訂版]

生徒の実態	内外の環境分析
<ul style="list-style-type: none"> ○純朴で素直な生徒が多く、地域課題解決型探究学習や学校行事、社会貢献活動、部活動等に積極的に取り組んでいる。 ○食物調理科、看護科には、目的意識をはっきりと持った生徒が多く入学してくる。また、卒業時には科の専門性を生かした多くのスペシャリストが巣立っている。 ○国公立大学合格者数が30名を越えるなど進学実績が向上している。 ○看護師国家試験合格率はほぼ100%である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○例年多くの中学生から志望されており、また特色ある教育活動を地域の方や保護者から高く評価されている。 ○すべての普通教室及び教科の特別教室に短焦点プロジェクトが完備されているなど、ICT環境が整っている。 ○2つの体育館、武道場、トレーニングルーム、多目的棟等、体育の授業や部活動、行事、活動発表等が効果的に進める施設環境が整っている。 ○保護者は学校の教育活動に対して理解があり、協力・支援が得られている。 ○地域や行政の支援体制が整っており、校外における様々な生徒の活動が行いやすい環境にある。

「殻を破ろう、人と繋がろう」

学校経営ビジョン (将来像・目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的学習を支援しながら学力向上を図り、希望する進路目標を達成できる学校 ○学習や学校行事・部活動を通して、道徳心や規範意識を身に付け、人間力を高めることができる学校 ○地域連携や英語力の向上を通して、グローバル社会やローカル社会に貢献できる人材を育成する学校 ○生徒相互の協力や教職員相互の協力・支援体制が整い、組織が活性化している学校 ○学校の取組をきちんと情報発信し、保護者や地域社会から理解され、信頼される学校
身に付けさせたい力 (資質・能力)	1 論理的思考力 2 コミュニケーション能力 3 課題発見・解決能力

目標実現に向けた取組の方針



実施するために何が必要か (指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力)	生徒にどのように支援するか (どのような配慮が必要か)
<ul style="list-style-type: none"> ○オンライン学習推進のための校内体制の確立やルールづくり ○主体的・協働的で深い学びにつながる授業改善や授業公開の充実を図る校内研修体制 ○国公立大学推薦・AO入試へのオール東高での指導体制 ○総合的な探究の時間「行学」に係る外部機関との連携 ○家庭学習時間確保に向けたメディア利用に関する学校と家庭との協力・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○クラウドサービス利用に係る、家庭のウェブ環境等への配慮 ○生徒の実態や学習内容に応じた一斉型授業と学び合い授業のバランス ○生徒が安心して学校生活を送れるクラス経営や学年の環境作り ○3年間を見通したきめ細かな進路指導 ○人間関係や授業に関する悩み等で個別の支援を必要とする生徒への教育相談・特別支援教育体制の充実